

若戸渡船とともに

渡船のあゆみ

7月に私たち新聞部は、「若戸渡船」取材させてもらった。また、洞海湾の歴史を知るなら、「わかちく史料館」。身近な渡船について、詳しく調べてみることにした。

若戸渡船とは

守田 悠真

若戸渡船のもととなる渡船は、明治維新よりも以前から運営されていた。

若松と戸畑を結ぶ際に、最も距離が短かったのが洞海湾の入り口で、約四百メートルであった。当初は、「大渡川渡船」と呼ばれており、人や荷物を運ぶ船であった。その後、1911年（明治四十四）に汽船「第一河蚌丸」が日本初となる運航を始めた。この船の竣工、運航ともに様々な費用を若松と戸畑が共同で負担し営業したのが若戸渡船の始まりだ。

1934年（昭和九）に、貨物渡船「第八わかと丸」、「第九わかと丸」が運営を始めた。日本初

転覆事故をのりこえ

植松 碧彩

若戸渡船。私たちの周りではほとんどの人が一度は耳にしたことがあるだろう。そんな身近な渡船でも、事故は起きていた。

1930年（昭和5）4月2日、70名以上の水死者を出した「若戸渡船転覆事故」。その日は、若松恵比寿神社の春季大祭の初日だった。その影響で大勢の参拝客が渡船を利用していった。

事故の起きた「第一わかと丸」の旅客定員は百十名。事故当時、乗っていたのは、約百八十名。定員を超過したまま出航していたのだった。四十メートルも進まないうちに転覆してしまったという。現在では、定員を超過して運航することはないとのことだ。

この事故がきっかけとなり完成したが、私たちの学校からも見える赤い「若戸大橋」だ。無料化が検討されているという情報もあり、さらに便利で身近なものとなっていくことだろう。そんな

九国大付属中学校新聞

第33号 発行日：2016.10.25

九州国際大学付属中学校

新聞部：

山縣 響子、植松 碧彩

武内 光彦、梅崎 樹

守田 悠真、大野 凜奈

今号のおもな内容

1 渡船のあゆみ

若戸渡船とは
転覆事故をのりこえて
Voice1、Voice2

2 渡船で出かけよう

渡船にのって…
ライバル見つけた！

3 新聞からクイズ

4 漫画「三日月」～実写版～

学校の住所

北九州市八幡東区枝光5-9-1

電話 093 (671) 9001



事務所でお話を伺い、渡船の操舵室も見学させていただきました。

* 運航できない場合

- ① 風速15m以上
- ② 波の高さ1m以上
- ③ 視界500m以下

現在では、定員を守ることを厳守。また安全管理規定により運航できない場合もある。そして、乗船客がいなくても定期運航が義務付けられているようだ。

中で、若戸渡船が存続しているのは、一体なぜなのか？

答えはVoice1にあると考える。今後の存続についても、きつと皆さんのVoice2があるだろう。

Voice1 (はじめて)

梅崎 樹

この間、若戸渡船にはじめて乗りました。渡船が、通勤や通学をする人に利用されていると聞いていたので、バスや電車に乗る感じかなと思っていたら、風が気持ちよく吹いて涼しく、たまにある船の揺れが心地よかったです。また、船が若戸大橋の下を通るので、橋を近くで見ることができ、毎日乗って、通学ができるのはいいなと思いました。

Voice2 (毎日)

山縣 響子

皆さんは、若戸渡船という船を知っていますか。若戸渡船は、名前の通り、若松と戸畑を結んでいる船です。その船に乗って、毎日登校している二年生の原口さんに、若戸渡船のことを聞いてみると、「乗り心地がよく、若松から戸畑まで三分ほどで着くのがとても良い」そうです。快適で便利な渡船に、ぜひみなさん乗ってみてください！

渡船で出かけよう

渡船事務所では、ピーク時には3万人いた渡船の利用者が1500人まで減少しているとの話を聞くうちに、僕たちにも何かできないかと考えた。そこで、中学生の足でも、気軽に出かけられるルートを提案したい。

渡船のこと...

武内 光彦

僕たち新聞部は、七月に若戸渡船に乗って、若松を散策した。そのときの経験をもとに、散策ルートを提案します。

まず、渡船に乗り戸畑から若松に渡ります。戸畑側の船着き場は、戸畑駅からまっすぐ直進すること5分程度。道に迷う心配はありません。船は、バスよりも早く着き、さらに景色を楽しむことができます。

若松側の船着き場に着いたら、最初に「わかちく史料館」へ行きます。途中、海岸沿いに看板も出ているので、迷わないし、潮風が気持ちいい！「わかちく史料館」には、洞海湾の歴史や若松の歴史などの資料が展示されています。そこは、「若松建設」という会社が持っている資料を展示しているそうですが、話を伺ったときはとても驚きました。

そして、海岸沿いを南に下っていくと、古い建物が見えるので歩いて飽きません。

少し遠いですが、「高塔山公園」に足を延ばすのが、僕のおすすめです。「高塔山公園」は、平成25年7月に日本夜景遺産に認定



この日は、とても良い天気！若松周辺の散策を楽しみました。渡船事務所でお話を伺い、史料館で学習し、クロワッサンをお土産に購入し、解散！

されました。ここからの眺めは絶景です。残念ながら中学生なので、夜景というわけにはいきませんが、家族と一緒に夜に行くのも良いと思います。

そして、帰りに「三日月」というクロワッサンの店に立ち寄り、お土産を買って、再び渡船で戸畑に戻るのはいかがでしょうか。地図中の赤い線が、そのルートです。

現状として「若戸渡船」の利用者は減少しています。「若戸大橋」ができて、利用者の声により廃止されなかった「若戸渡船」。再び、僕たち市民の声により存続されるよう、支えていきましょう。生活密着型の渡船をもっと市民の皆さんに知ってもらえたらいいな。今回の提案が、皆さんに気に入ってもらえたらうれしいです。

「三日月」

先輩、散策のときに寄ったお店の名前、何でしたか？



名月をとって...



それは満月！

菜の花や...



それも満月！

三日月ですよ。



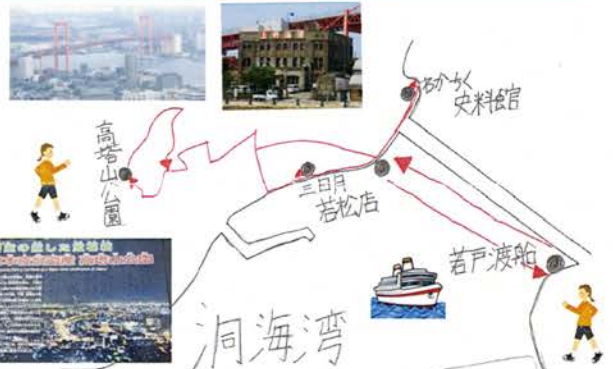
部長は任せた！

頑張ります！

ライバル見つけた！

大野 凜奈

舞台はアメリカ、ニューヨーク。フェリーは365日24時間営業している。1905年からニューヨーク市が運営しており、距離は8.4キロメートル。毎年2100万人を運んでいる。所要時間



間は25分程度、料金は無料だ。最初はお金がかかっていたが、市民から「市内を移動するのにフェリー代を払うのか」と声が上がったため、無料になったそうだ。1日に104回程度航行している。この船は自転車も一緒に積み込める場合がある。昔は車も1台3ドルで運べたが、アメリカ同時多発テロ以来、運ぶことが許可されていないそうだ。乗客はおもに通勤客が多い。だが、航行中に自由の女神像が見えるということ。観光客にも人気があるそうだ。考察してみると、若戸渡船と共

「新聞からクイズ」

Q13. 船の寿命は何年くらい？

- ① 15年
- ② 35年
- ③ 55年

意外に長い？ それとも短い？



通するところも多い。

- ① 通勤客が多い
 - ② 航行中に人気建造物がある
 - ③ 自転車を積み込める
 - ④ 市民の声に支えられている
- しかし、規模と無料であるところが、大きく異なっている。情報源は、若松在住の先生だ。まさか若戸渡船のライバルをニューヨークに見つけておられたとは考えてもみなかった。

参考：若戸渡船のあゆみ（パンフレット）
わかちく史料館
Googleマップ・西日本新聞など

突然の訪問だったにもかかわらず、快く対応してくださった若戸渡船事務所の皆様、また、洞海湾の歴史をかいつまんでお話ししてくださった「わかちく史料館」の館長さん、大変お世話になりました。僕たちの前を築いてきた人たちのことを知ることが、未来に必ずつながっていくと信じています。渡船が僕たちの次の世代でも利用され続けることを願っています。

<クイズの答え ②が正解>